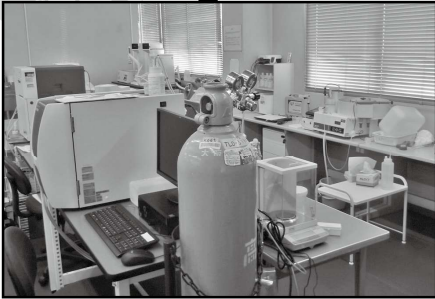


環境と健康

環境協本部
(広島市中区)

東部支所
(福山市山手町)



東部支所に新たに整備された水道水質検査室

東部支所で水道水質検査スタート 災害時の県東部の分析拠点に

東部支所は1970年に開所し、最初の15年間は、県福山保健所内に間借りして業務を行っていました。当初は学校保健や食品事業所などの衛生検査の検体および、井戸・水道水質検査や各種環境調査の検体を広島市の本部まで輸送して検査を行っていました。1985年11月に現在の山手町へ移転してからは検便・尿・ぎょう虫検査などの衛生検査を開始し、その後は、食品のカキ検査、その他食品微生物検査へ対象を広げて30年が経過しています。

2018年の西日本豪雨の際には東部支所も被災し、約50%の床上浸水をしました。休日に職員による復旧作業を行い、週明けから業務を再開しました。当時、県内各地域では道路や水道インフラの被害により長期間断水が続く、個人所有の井戸水検査依頼や水道事業体から復旧のための臨時水質検査依頼が多くありました。通常はこれらの検体を車両で本部に輸送しますが、被災により山陽自動車道が通行止めとなったため、中国自動車道を迂回して、また急ぎの場合は新幹線を利用して対応しました。交通もそうですが、井戸水や水道水も生活に欠かせないインフラとして大切なものです。県内で大きな災害が起こった際に、本部と東部支所の交通が遮断されるケースも起こります。

かんほきょうの

森

だより

①

「かんほきょうの森」で自然観察会

源流の沢で生き物観察

当協会は、2024年5月より東広島市福富町の森林で「かんほきょうの森」づくりに取り組んでいます。本連載では、「かんほきょうの森」の森林整備状況やイベントの様子などの紹介をしていきます。

務めました。

8月3日、「かんほきょうの森」で自然観察会を開催しました。自然観察会は、自然と触れ合い、自然を大切にする気持ちを持ってもらうことと実施したイベントです。当日は、東広島市と広島市在住の親子ら約20人が参加し、当協会のプロジェクトメンバーが進行と講師を務めました。

自然観察会のテーマは、「かんほきょうの森」が沼田川(東広島市から三原市に流れる川)の源流林のひとつであることから、沢の生き物観察としました。参加者は網やバケツを持って沢に入り、タカハヤやアカザ、オヤンマのヤゴなどさまざまな生き物を採集しました。その後、講師の指導を受けながら、採った生き物を仕分けし、観察しました。生き物観察の最後には、同じ川でも場所によって環境や生き物が異なることや、森が海や私たちの生活とながっていることを学んでもらいました。



沢で生き物を採集する参加者親子

また、短い時間でしたが、「かんほきょうの森」の植物も観察しました。広島県天然記念

物であるホンシヤクナゲの解説のほか、クワモジなどの葉を触ったり、良い香りを嗅いだりしながら植物の特性を体感してもらいました。

参加者からは、「魚を捕まえてうれしかった」「同じヤゴでも、トンボの種類で姿が違うことに驚いた」「街より気温が低くてびっくりした」「水がきれいだった、冷たかった」などの感想が聞かれました。今後もテーマや対象者を工夫しながら、自然観察会を開催する予定です。ご期待ください。

(経営企画課 八島聡美)

きんせんか 琴線歌

広島県がカキの生産全国一といことは皆さんよく知っていますよね。クイズです。むき身の生産量は年間約2万トン程度です。では、身をむいたあとのカキ殻は何万トン出ているでしょうか?正解は約10万トンです。殻の方が重いんです!この大量のカキ殻が余って困っています。原因の一つとして、数年前から鳥インフルエンザの発生があり、鶏の飼料として売れる量が減ってしまったことが挙げられます。▼お歳暮などでは殻付きカキが使われています。皆さん、食べたあとの殻はどうしていますか?砕いて畑に混ぜ込めば、酸性土壌のpHを中和してくれます。特に使い道がない人は、燃えるゴミで出せます。▼カキ殻の主成分は炭酸カルシウムです。カキ殻を焼く温度を上げていくとどうなるでしょうか?3000~4000℃くら

カキ殻はゴミ?

いでカキ殻の表面が焼けて、酸化カルシウムになります。これはアルカリ性なので、さまざまな用途に使えます。土壌改善材として使われているのはこのためです。700℃以上になると、全部燃えて灰になってしまいます。ですから、燃えるゴミで出しても問題ありません。私は、カキ殻をヘドロ化した浜にすき込んで、底質改善をしています。表面が酸化カルシウムになったカキ殻は、猛毒な硫化水素などを瞬時に酸化して消滅させてくれます。これによって、生き物がいなかった浜に生き物が戻ってきます。それらの生き物は魚の餌となり、魚が増えます。安芸津の風早干潟に続き、廿日市の地御前の干潟でもプロジェクトを始めました。浜での環境学習に是非いらしてください。改善の効果を実感できます。

(流域環境再生センター所長 山本民次)



一般財団法人 ~みんなの生命をまもりつづけたい~

広島県環境保健協会

〒730-8631 広島市中区広瀬北町9番1号(広島県公衆衛生会館)

TEL:082(293)1511 [大代表] FAX:082(293)1520

かんほきょう

検索

基本理念

みんなの生命(いのち)をまもりつづけたい。

私たちは、健康づくりと住みよい環境づくりに取り組み、持続可能な社会の発展に貢献します。

